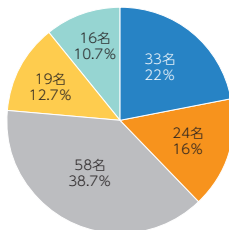


## 卒業生の進路

### R4～R6年度修了者（150名） 進路先内訳

- 博士課程進学
- 研究所・公的機関・病院・福祉関係
- 国内企業（製造業等）
- 外資系企業（製造業等）
- その他（留学生の帰国等）



## 国際交流



筑波大学は、国際的な学術交流によって学術研究水準の向上を図り、国際的視野を持つ人材の養成を目指しています。この目的達成のため、海外の大学・研究機関・団体との交流協定を結び、学生や教員の海外派遣、単位互換、外国人教師の受け入れなどを行っています。また、外国人留学生の受け入れも積極的に進めています。ボルドー大学(フランス)、国立台湾大学(台湾)、サンパウロ大学(ブラジル)、カルフォルニア大学アーバイン校(米国)、ベトナム国家大学ホーチミン校、インドネシア生命医科学コンソーシアムなどと教育研究交流をすすめています。

## 奨学金

つくばスカラシップや日本学生支援機構などの奨学金制度、授業料の免除制度、ティーチングアシスタント制度などがあります。いずれも、学業・人物ともに優秀で、かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となっています。

## オープンキャンパス

例年、4月と6月の2回開催され、フロンティア医科学学位プログラムについての詳細な情報や入試に関する説明を聞くことが出来ます。また、複数の研究室を訪問することも出来ます。詳しくはホームページのオープンキャンパス特設サイトをご覧ください。

## 入学試験

出願資格は、(1) 大学を卒業した者、およびその年度に大学卒業見込みの者、(2) 外国においてその学校教育における16年の課程を修了した者、およびその年度に修了見込みの者、(3) 上記と同等の学力があると認められる者、ならびに文部科学大臣の指定を受けた者です。出願者の中から、成績証明書、筆記試験および口述試験の結果を総合的に判断して、入学候補者を決定します。

### 区 分

- 1 8月実施入試・1-2月実施入試(一般入学試験・社会人特別選抜)**
  - ・8月と1-2月の2回チャンスがあります。
  - ・どちらも一般入学試験の他に、社会人特別選抜枠があります。
  - ・定員：8月実施 45名、1-2月実施 5名
  - ・入学時期：4月
- 2 海外居住者(海外居住日本人を含む)大学院特別選抜入学試験**
  - ・春と秋の2回のチャンスがあります。試験の日程は各年度で異なります。
  - ・入学時期：春受験は10月、秋受験は4月
- 3 その他、下記の入試もあります。**
  - ・デュアルディグリープログラム
  - ・大学推薦による国費外国人留学生特別枠(募集の有無は各年度で異なります。)

### 試験科目

#### 区分 1 について

一般	英語	専門科目	個別面接
社会人		小論文	

- ・英語：TOEIC、TOEFLまたはIELTSの点数を評価
- ・専門科目：医科学に関する問題（生化学・分子生物学、生理学、医学物理学）のうち、1問を選択して解答
- ・小論文：医科学に関連する内容
- ・過去問を準備しています。取得については、当学位プログラム事務室に連絡してください。

#### 区分 2 について

- ・書類選考（一次選考）、個別面接による口頭試問
- ・詳細はホームページから募集要項を確認してください。

#### 区分 3 について

- ・詳細はホームページから募集要項を確認してください。

筑波大学大学院  
人間総合科学学術院  
人間総合科学研究群 修士課程

# フロンティア医科学 学位プログラム



MASTER'S PROGRAM in  
MEDICAL SCIENCES

フロンティア医科学学位プログラム事務室  
〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1  
E-Mail: frontier@md.tsukuba.ac.jp  
<https://www.md.tsukuba.ac.jp/FrontierSite/>





## フロンティア医科学 学位プログラムの概要

フロンティア医科学は、基礎医学・臨床医学・医学物理学・橋渡し研究・レギュラトリーサイエンスなどを横断する学際的分野です。本学位プログラムは、「医科学」「医学物理学」「橋渡し研究・レギュラトリーサイエンス」「感染症危機管理学」の4つの教育・研究分野から構成され、医科学の包括的な基盤教育を基に、社会的ニーズに応える実践的かつ幅広い教育・研究を展開しています。研究者・大学教員をはじめとする高度専門職業人として、安心して健康な社会の実現と持続に貢献できる人材の育成を目指しています。

### 医科学

医科学分野では、日進月歩の医学に貢献できる人材を養成するため、主に実験科学を基盤として広く医科学分野を学修するようにカリキュラムが組まれています。基礎医学や臨床医学に跨る包括的な医科学の基盤的知識をカリキュラムに従って学習し、専門領域の深い学識を養った上で、修士論文研究を通して、専門領域における諸問題について、包括的な視点でそれを解明し、解決できる能力を身につけます。

### 医学物理学

医学物理学分野では、「がん医療を診断と治療の2つの技術的側面から支えるプロフェッショナルの養成、医学物理分野における先端的な研究開発を行う人材の養成」を柱にした大学院教育を掲げて教育に取り組んでいます。筑波大学は陽子線を医学利用するための施設を有しており、今後世界で広まっていくことが予想される陽子線治療における人材の養成も教育目標の1つです。また、放射線災害時のあらゆる状況で対応できる人材養成にも注力しています。修士修了後に、さらに高度な知識や技術を身につけたい方のために、博士課程に加え、医学物理士レジデントのコースも用意しています。

### 橋渡し研究・レギュラトリーサイエンス

基礎研究シーズを実用化するためには、候補化合物のスクリーニング、最適化、非臨床試験などの応用研究と橋渡し研究、臨床試験（治験）を実施する必要があります。これらの研究・試験を実施するにあたっては、多額なコスト、マンパワーがかかること、また、各種の薬事的、倫理的な規制に対応することが必要であり、超えることが難しい「死の谷」があると言われています。橋渡し研究・レギュラトリーサイエンス分野では、「死の谷」を超えるための橋渡し研究・臨床研究の支援人材（プロジェクトマネージャー、臨床研究コーディネーター（CRC）、モニターなど）を、実際に臨床研究・橋渡し研究のオンザジョブトレーニング（OJT）を実施し養成します。

### 感染症危機管理学

近年、新興・再興感染症が相次ぎ、感染症の脅威は世界規模で深刻化しています。治療薬・ワクチンの開発から病原体サーベイランス、情報発信に至るまで、解決すべき課題は複雑化しており、学際的視点と社会実装力を兼ね備えた人材の育成が急務となっています。本分野は、筑波大学と関連する国立研究所が連携する協働大学院として設置され、基礎医学から臨床医学、社会医学・公衆衛生までを横断的に学ぶことを通じて、国際的に感染症対策を牽引できる高度専門職業人の育成をめざします。

### カリキュラム

修了するためには？

- 30単位以上取得する
- 修論を提出して審査に合格する



修士(医科学)

多彩なカリキュラム

- 大学院共通科目
- 学術院共通専門基盤科目
- 基礎科目
- 専門基礎科目
- 専門科目



30単位のうち、必修は2科目9単位

インターンシップ(1単位)

医科学特別演習\*(8単位)

\*修士論文を作成するための研究活動

修了までの2年間の流れ

